

2026/4/29	終値	前日比	騰落率
Dow30	48,861.81	-280.12	-0.6%
S&P500	7,135.95	-2.85	-0.0%
NASDAQ	24,673.24	+9.44	+0.0%
T-Bond 30Y	4.98%	+5bp	
T-Note 10Y	4.41%	+7bp	
T-Note 5Y	4.06%	+9bp	
T-Note 2Y	3.93%	+10bp	
WTI 原油 6 月	106.88	+6.95	+7.0%
COMEX 金 6 月	4,561.5	-46.9	-1.0%

*米国債の利回りは東部時間午後 4 時前後の値です。

	NYSE	NASDAQ
値上り銘柄数	1,254	1,509
値下り銘柄数	3,147	3,303
出来高(万株)	124,250	819,093

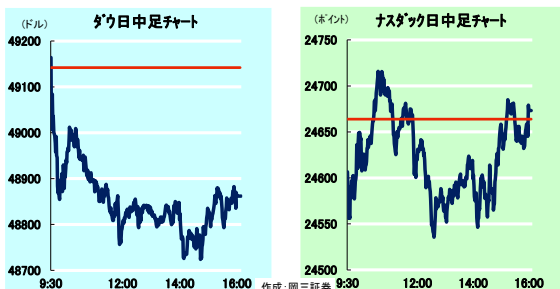
過去 1 年(終値)	Dow30	NASDAQ
高値	50,188.14 (26/2/10)	24,887.10 (26/4/27)
安値	40,527.62 (25/4/29)	17,446.34 (25/4/30)

シカゴ日経先物	清算値		大証比
	円建て	ドル建て	
	58,915	58,925	-1,105
			-1,095

*数値は最終確定値ではなく、変更となる場合があります。

<株式相場>

主要 3 指数はまちまち。ホルムズ海峡の封鎖を巡る不透明感から原油価格が上昇する中、ナスダックは下落して取引を開始した。パランティア・テクノロジー(-2.3%)などソフトウェア株が軟調に推移した。NY ダウは、1-3 月期の利益が市場予想を上回ったピザ(+8.3%)など金融セクターが買われ、横ばい圏で始まったが次第に売りに押された。取引開始後、米上院銀行委員会はウォーシュ氏の FRB 議長指名を承認したが、相場への影響は限定的。その後、「トランプ氏がホルムズ海峡再開のイラン提案を拒否」と伝わると、原油高が進み相場全体は軟調な動きになった。午後に入り、幼派的な FOMC 声明文を受け、エネルギー価格高によるインフレ懸念から年内の利上げ観測が強まったことも、株式市場の重しとなった。パウエル議長が記者会見で FRB 理事として務め続ける意向を示す中、米国株は下げ渋る動きとなり、ナスダックは小幅に反発して取引を終了。個別では、4-6 月期の業績見通しが市場予想を上振れたシーゲイト・テクノロジー・ホールディングス(+11.1%)が大幅高となった。



<債券相場>

米 10 年国債は下落し、利回りは上昇。FOMC 会合結果を控えて、朝方から米国債は売りが先行。午後にかけて、「トランプ氏がホルムズ海峡再開のイラン提案を拒否」と伝わり、原油高が進む中、米国債は軟調推移が続いた。その後、幼派的な FOMC 声明文を受けて、米国債は下げを拡大。午後 4 時頃の 10 年国債利回りは前日比+7bp の 4.41%近辺で推移している。

■FOMC、3 会合連続で据え置き

連邦準備理事会(FRB)は連邦公開市場委員会(FOMC)で、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を据え置き、3.50~3.75%とした。4 人が反対票を投じ、3 人は現時点で声明に緩和バイアスを盛り込むことは支持できないとした。

■MBA 住宅ローン申請指数、前週比-1.6%

全米抵当貸付銀行協会(MBA)が発表した、4 月 24 日終了週の住宅ローン申請指数が前週比-1.6%となった。

	今回	前回
	(前週比、%)	
住宅ローン申請指数	-1.6	+7.9
内訳 購入指数	+1.2	+10.1
借換指数	-4.4	+5.8
(平均金利、%)		
30 年固定型住宅ローン	6.37	6.35
15 年固定型住宅ローン	5.77	5.75

■3 月住宅着工件数、市場予想を上回る

商務省が発表した 3 月の住宅着工件数は年率換算 150.2 万件となり、市場予想(138.0 万件)を上回った。

■3 月耐久財受注(速報値)、市場予想を上回る

商務省が発表した 3 月の耐久財受注(速報値)は前月比 +0.8%となり、市場予想(同+0.5%)を上回った。

	今回	予想	前月
	(前月比、%)		
耐久財受注	+0.8	+0.5	-1.2
コア資本財受注(航空機を除いた非国防資本財受注)	+3.3	+0.5	+1.6
コア資本財出荷(GDP の算出に使用)	+1.2	+0.6	+1.3

<欧州概況>

2026/4/29	終値	前日比	騰落率
DJ STOXX 600	602.96	-3.62	-0.6%
FTSE 100(英)	10,213.11	-119.68	-1.2%
DAX 30(独)	23,954.56	-63.70	-0.3%
CAC 40(仏)	8,072.13	-31.96	-0.4%
英 10 年国債	5.07%	+6bp	
独 10 年国債	3.11%	+4bp	

*各国債の利回りは米国東部時間午後 1 時前後の値です。

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ (<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

【手数料およびリスクについての重要な注意事項】

- ・金融商品の購入には手数料等その他の費用がかかります。
- ・金融商品にはリスク(元本損失を生じるおそれ)があります。
- ・取引や商品ごとに手数料等及びリスクが異なりますので、詳細は右記 QR コードのリンク先「手数料およびリスクについての重要な注意事項」をよくご確認ください。リスク・手数料等を記載した書面をご請求される場合は、当社コンタクトセンター(☎0120-390603)までお問い合わせ下さい。



<https://www.okasan.co.jp/disclaimer.html>

【日本以外の地域における本レポートの配布】

- ・香港: 本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亞洲)有限公司によって、SFC に規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亞洲)有限公司にお願いします。
- ・米国: 本レポートの作成者は、米国の証券業界の自主規制機関(FINRA)にリサーチ・アナリストとして登録されておらず、リサーチレポートの作成およびアナリストの独立性に関する米国規制の適用を受けません。第三者による本調査レポートは、1934年証券取引所法規則第15a-6条(改正を含む)に定められる主要米国機関投資家(Major US Institutional Investors)に対してのみ、米国の証券会社である Wedbush Securities Inc.(1934年証券取引所法第15条に基づき登録、以下「Wedbush」といいます。)により、米国内で配布されます。Wedbush による米国内の本レポート配布に関しては Wedbush が全責任を負うものといたします。本レポートは、いずれかの管轄区域内の法令等により Wedbush が本レポートの提供を禁止または制限されている投資家を対象としたものではありません。本レポートを閲覧する前に、Wedbush が関連法令・規制に基づいてお客様に投資関連資料を提供することが許可されている旨をご自身でご確認ください。本レポートを受領・閲覧し、記載されている証券の取引を希望する米国内の投資家は全て、本レポートの発行者ではなく、以下の者と取引を行う必要があります: Wedbush Securities Inc., 1000 Wilshire Blvd, Los Angeles, California 90017, 電話番号+1(646)604-4232。
- ・その他の地域: 本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会

一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

(2026年4月改定)